

第二十二 國旗こくき

この繪は紀元きげん節せつに家々で日の丸の旗を立てたのを、子供たちが見て、よろこばしさに話をしてゐる所です。

どこの國にもその國のしるしの旗があります。

す。これを國旗と申し
ます。日の丸の旗は、我
が國の國旗でござい
ます。

我が國の祝日や祭日
には、學校でも家々で
も國旗を立てます。そ
の外、我が國の船が外
國の港にとまる時に



も之を立てます。

國旗はその國のしるしでございますから、我等日本人は日の丸の旗を大切にしなければなりません。又禮儀を知る國民としては外國の國旗もさうたうにうやまはなければなりません。